

第24回 心の伝染病

同じ世代の知人や著名人などが、ある病気に罹って突然亡くなったりすると、自分も同じ病気に罹るのではないかと妙に心配になることはないだろうか？自分の症状に該当しそうな病気をネットで検索し、ある怖い病気が当てはまると、居ても立っても居られなくなり、病院に駆け込みたくなることはないだろうか？いったい、その「不幸の予測」は、どのくらいの確率で的中するのだろうか？僕の経験では、99%以上の確率で外れている。「その1%が怖い」と思う人は、交通事故に逢わないように、外出を避けたほうが良いだろう。

人間は、良いものよりも、悪いものに影響を受けやすい。悪いことを信じて、それが外れることに幸福を感じ、良いことを信じ

て裏切られることを避けようとする傾向がある。医者も、「悪くなる」と言っておけば、もし良くなっても批判は受けないが、「良くなる」と言っておけば、悪くなれば恨まれるので、基本、悪く言っておくことが多い。医者に関わらず、世の中の風潮は、「まず自分の身を護ろう」とする防衛本能が支配している面がある。

けれど、外部から発信された否定的で悲観的な情報に支配される人生は幸福といえるだろうか？「不幸な心の伝染病」に感染して生きる人生に、主体性や責任感はないように思う。否、人間には、自灯明(じとうみょう)のような、ポジティブな心のパワーが宿っている。そして、考え方の自由を与えられている。幸いなことに、人間は一度に二つの事は考えられない。ならば、陰を捨て、陽を取るべきではないか。その陽なる心にこそ、健康的で、明るい未来を引き寄せる、電磁石のようなパワーが宿るのだ。

医学博士 木村謙介

北海道大学医学部卒。慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師などを歴任。

米カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部留学、最先端の基礎医学と豊富な臨床経験を持つ。「大きな病気を発症する前にその芽を摘み取る方が医療レベルは高いはず」の信念で2012年、きむら内科クリニックを開設。

医療法人

きむら内科クリニック TEL 044(981)6617

麻生区片平5-24-15 きむら内科クリニック 麻生区 検索

